



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第31巻第5号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第31巻第5号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1985, 31(5): 914-914

ISSUE DATE:

1985-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118474>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 31, No. 5 ACTA UROLOGICA JAPONICA

May 1985

泌尿器科紀要

第31巻 第5号 1985年5月

ラット腎結石形成に及ぼす Etidronate Disodium (EHDP) の効果	川村 寿一・ほか	749
ヒト腎細胞癌由来培養細胞 KU-2 の異質性について		
—KU-2 クローン株の NK 細胞傷害能に対する感受性—	早川 正道・ほか	763
膀胱癌再発に対する Bleomycin 加温灌流療法の効果	西村 一男・ほか	769
脊損患者の膀胱機能回復—急性期無菌間歇導尿管管理法の		
違いによる尿路予後の検討—(英文)—	岩坪 暎二・ほか	775
ヒト前立腺肥大症組織の腺上皮および間質における		
男性ホルモン受容体と 5 α -リダクテース活性について	大石 賢二・ほか	785
原発性上皮小体機能亢進症の2例	中本 貴久・ほか	791
Cushing 症候群を呈した副腎皮質癌に対し術後再発予防として		
Cis-platinum を使用した1例	石川 成明・ほか	801
老人にみられた褐色細胞腫の1例	諸角 誠人・ほか	807
下大静脈平滑筋肉腫の1例	郷司 和男・ほか	813
腎癌に対する拡大根治手術—胸腹式アプローチおよび		
肝の剝離によって摘除しえた下大静脈内腫瘍血栓の1例—	有吉 朝美・小松 潔	821
転移性尿管腫瘍の1例	寛 善行・ほか	827
膀胱頸部および腔に同時開口した尿管異所開口の1例	三浦 猛・ほか	833
先天性膀胱腔瘻の1例	伊藤 哲二・ほか	839
前立腺悪性リンパ腫の1例	原 真・ほか	845
不妊を主訴とした XX-male の1例	笹川五十次・ほか	849
46, XX 真性半陰陽の1例—本邦例37例の集計と		
治療における若干の考察—	福田 百邦・ほか	857
Ceftizoxime (CZX) の前立腺組織内移行に関する検討	星 宣次・ほか	863
Cefoperazone (CPZ) 大量投与による前立腺組織内移行について	吉田 英機・ほか	871
進行前立腺癌に対する Peplomycin の持続皮下注入		
療法の検討	佐竹 一郎・田利 清信	875
前立腺肥大症に対する Lisuride hydrogen maleate (SH-1072)		
の臨床効果—治療成績と作用機作に関する考察—	岡田謙一郎・ほか	885
外来慢性尿路感染症患者に対する Cinoxacin (Cinobact) [®] の		
長期間投与について	松本 純一・ほか	895
ロバベロン錠 (KN-7) の排尿障害に対する長期投与試験	山田 薫・ほか	901
硫酸アミカシンの局所投与の検討	和田 誠次・ほか	907

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、所属機関名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSA)からなる running title を付す。
 - (ロ) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、所属機関名、著者名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースとて紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{1,3,~10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修 (主 幹)

泌尿器科紀要 第31巻 第5号 1985年5月25日 印刷 1985年5月31日 発行
 発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話 (075) 751-3327 (直通)
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
